



下山小だより

身延町立下山小学校
Tel 0556-62-5107
Fax 0556-62-5388

下山小の合い言葉 あいさつ いのち うんどう えがお おもいやり

学校開放ありがとうございました

11月10日に学校開放として、3・4校時、5・6校時の教育活動を公開しました。保護者、一般参加を含めて、70人以上の方に参観していただきました。子どもたちも、保護者の皆さんにお越しいただき嬉しかったようです。みんなはりきっていました。感染対策に御協力いただきながらの参観でしたが、大勢の方に御参加いただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

2学期も残り少なくなり、まもなく師走を迎えます。山梨県の新規感染者も少なくなり、日常が戻りつつあります。このまま、感染の再拡大がないことを願っています。もうすぐ6年生の修学旅行です。引き続き、感染防止策の徹底に御協力をお願いします。

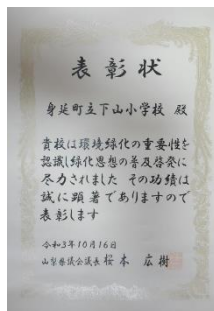
1年生校外学習

10月27日に森林総合研究所に行ってきました。まず、色々な種類のどんぐりや小枝など、自然の材料を使って壁飾りを作りました。みんな材料の形を見ながら、組み合わせを工夫し、楽しく素敵な作品を作ることができました。その後、クラフトパークに移動し、遊具で遊んだり、落ち葉をかけ合ったりとみんなで元気に遊びました。楽しい秋の1日となりました。



県緑化表彰

これまで積み上げてきた、緑の少年隊の活動や、身延町の自然や歴史を学び、自然とふれあい大切にする学習活動が認められ、山梨県議会議長賞をいただきました。これからも自然と共に生きていく姿勢を大切に、学びを深めていきたいと思えます。



3年生町内めぐり

10月27日に町内めぐりに出かけました。まず、ゆば工房五大に行きました。工場を案内していただきながら、ゆばができるまでを丁寧に説明していただきました。そして実際にすくう体験をさせていただきました。ゆばをおみやげとしていただきました。身延町役場では、役場の仕事について丁寧に説明していただきました。町長さんから、お話をいただき、町長さんの椅子にも一人一人が座らせていただきました。たくさんの方が働いていただいているおかげで暮らしやすい身延町になっていることが分かりました。最後に和紙の里に行き、和紙のうちわを作りました。その後手漉き和紙の工場に行き、実際に漉くところを見せていただきました。初めて見るものが多く、驚きと共に、たくさんの学びがありました。



人権学習会

10月28日(木)に人権学習会を行いました。低学年と高学年に分かれて体育館で学習しました。NPO 法人エンパワーメントアフロッキーから3名の先生にお越しいただき、対話をしながら自分の体と心を大切にすること、自分の気持ちを伝えること等、体を動かしながら学びました。子どもたちは、様々な活動を通して、自分を大事にするために必要なことについて考えることができました。自分も周りの人たちも、みんなが幸せに暮らすために、何を大切にしていればよいか、今後も一人一人が考えて過ごしてほしいと思います。



5年生工場見学

10月29日にメッツ工場の見学に行きました。スライドで工場の概要について説明を受けた後、インカムをつけて工場内を見学しました。様々な機械の役割や作業工程などを丁寧に説明していただき、正確さ効率化、安全管理等、大切にしていることを学びました。その後、食堂でお昼をいただきました。とてもおいしくてみんな完食しました。その後のたくさんの質問や感想にも丁寧に答えていただき、一人一人がしっかり学ぶことができました。



玄関が華やかに

10月28日に環境委員会がプランターに花を植えました。土をしっかりと混ぜ、一人一人が丁寧に植えていました。これまでも、毎日水やりをしてきていました。これから寒い季節となりますが、玄関が華やかになりました。



よろしくお願ひします

11月26日から2年生に新しい友達が増えました。勝 麻哉(すぐれ あさや)くんです。3月4日まで登校します。どうぞよろしくお願ひします。

子どもたちがみんな、自分らしく生きていってほしいと願っています。そのためにも、今の自分を好きになってほしいと思います。そうはいつでも、短所ばかりが気になって、自分のことを認めるのは難しいところがあるかもしれません。でも、短所も見方を変えれば、長所となります。

例えば、あわてんぼうな人は行動が早い人、引っ込み思案な人は慎重で丁寧な人、飽きっぽい人は好奇心旺盛な人、頑固な人は意志が強い人、集中できない人は視野が広い人、という風に見方を変えることで、短所も長所となり、その人らしさ、良さ、素晴らしさとなります。大切にしたい素晴らしい個性です。

子どもたちが自分らしさを認め、好きになるためには、周りの大人がその子らしさを認め、大切にしようとする、また、子どもたちがお互いに認め合い大切にしようすることが大事だと思います。

他人と比較するのではなく、まるごと自分を受け止めてもらえる安心感の中で、一人一人が自分のことを好きになり、自分らしさを受け止めて、その素晴らしい力、可能性を安心してのびのびと発揮していってほしいと思います。

文責 校長 新田 修